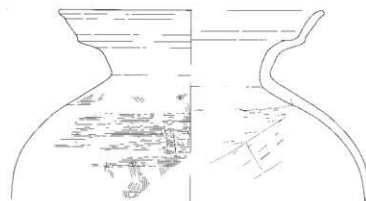


石川県金沢市

# 出雲じいさまだ遺跡Ⅳ

—戸板会館かがやき建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—



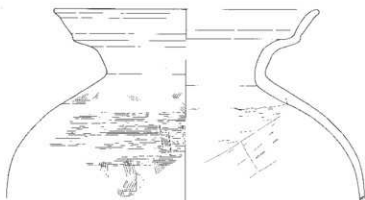
平成29年3月  
(2017年)

金 沢 市  
(金沢市埋蔵文化財センター)

石川県金沢市

# 出雲じいさまだ遺跡Ⅳ

—戸板会館かがやき建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—



平成29年3月  
(2017年)

金 沢 市  
(金沢市埋蔵文化財センター)



## 例 言

1. 本書は、石川県金沢市戸板1丁目2番地に所在する出雲じいさまだ遺跡の発掘調査報告書である。
2. 出雲じいさまだ遺跡は、金沢市教育委員会生涯学習課による戸板会館かがやき建設工事に伴い、平成25年度に金沢市が発掘調査を実施したものである。
3. 発掘調査の期間と場所、面積は次のとおりである。  
調査期間：平成25年11月8日～12月27日      調査面積：510㎡
4. 発掘調査は、金沢市埋蔵文化財調査委員会（委員長 谷内尾晋司氏、委員 垣田修児氏、横山方子氏、小嶋孝孝氏）の指導の下で、景山和也（文化財保護課主査）が担当した。
5. 本書の編集・執筆は、新出敬子が担当した。写真撮影は庄田知充（文化財保護課主査）が担当した。
6. 本書に収録した遺物は、全て金沢市教育委員会が一括保管している。
7. 屋内整理および製図は、次の方々に協力していただいた（50音順）。  
井川明子氏、蟹やエ子氏、車谷律子氏、境田早苗氏、谷森真利氏、寺西悦子氏、土橋裕美氏、供田奈津子氏、畑尾ゆかり氏、法桑加代氏
8. 本書の各国及び写真図版の指示は以下のとおりである。
  - (1) 方位は全て座標北である。座標は国土座標第Ⅶ系（測地成果2011）に準拠する。
  - (2) 遺構図の水平基準は海拔高で、単位はメートル（m）である。
  - (3) 土層の色調は小山正忠・竹原秀雄2006『新版標準土色帖』（日本色研究事業（株））による。
  - (4) 各国の縮尺は、遺物は1/3、遺構は1/40が主であるが、各国に指示しているとおりである。
  - (5) 遺構名の略号は、SB＝掘立柱建物、SH＝竪穴式建物（平地式建物）、SE＝井戸跡、SK＝土坑跡、SD＝溝・川跡、SX＝落ち込み・土器溜まり、P＝ピットなどである。
  - (6) 遺物実測図の番号は通し番号とし、本文中、観察表、写真図版のそれと一致する。
  - (7) 遺構観察表の計測単位はメートル（m）、遺物観察表の計測単位はミリメートル（mm）およびグラム（g）である。表中（ ）書きの計測値については現存値を示している。
  - (8) 遺物観察表中の「遺存」欄は径復元に用いた部位と、12分割した際の遺存度を示した。底6は底部が6/12で半分、口12は口縁部が12/12で全て残っているということである。
  - (9) 土器については「壺」・「甕」・「高杯」・「器台」などと表記するが、用途を示すのではなく、形態による分類で、「壺形土器」などの略称である。
  - (10) 土器実測図の断面が黒色のものは須恵器を、その他のものは白抜きで示している。また、実測図内外面の目の粗いドットは黒色処理を、細かいものは赤彩処理を、細かな砂目状のものは灯明痕・焼痕を示している。
9. 本調査での出土遺物、記録資料は金沢市埋蔵文化財センターで保管している。

# 目 次

|     |               |    |
|-----|---------------|----|
| 第1章 | 報告の経緯         | 1  |
| 第1節 | 調査に至る経緯       | 1  |
| 第2章 | 遺構と遺物         | 5  |
| 第1節 | 概要            | 5  |
| 第2節 | 主要遺構と出土遺物について | 5  |
| 1   | 建物            | 5  |
| 2   | 土坑・その他遺構      | 5  |
| 3   | 溝・川跡          | 6  |
| 4   | 柱穴・包含層        | 7  |
| 第3節 | 木製品           | 10 |
| 第3章 | 総括            | 24 |

測量図版

写真図版

# 第1章 報告の経緯

## 第1節 調査に至る経緯

平成13年4月13日付、金沢市戸板第二土地区画整理組合から事業施工地区内506,759.57㎡にかかる埋蔵文化財分布調査の依頼書が提出された。これを受け金沢市埋蔵文化財センターでは平成13年11月5日～同年11月15日にかけて試掘調査を行い、薬師堂遺跡、桜田・示野中遺跡、出雲じいさまだ遺跡の範囲が確定した。当該地区で平成24年度に戸板会館建設が行われるということで、金沢市埋蔵文化財センターと金沢市教育委員会生涯学習課とで協議の結果、平成25年度に発掘調査を行うことが決定した。調査の期間は平成25年11月8日～平成25年12月27日までで、調査面積は510㎡である。今回は出雲じいさまだ遺跡の第7次目の調査で出雲じいさまだ遺跡の様相を明らかにする上で重要な調査となった。

### 【発掘日誌】

平成25年(2013年)

|        |                          |        |                        |
|--------|--------------------------|--------|------------------------|
| 11月6日  | 調査区範囲杭設置。                | 12月11日 | グリッド測量実施。遺構検出。遺構概略図作成。 |
| 11月11日 | 1区表土掘削(～11月12日まで)。       | 12月16日 | 遺構掘削。SB201、SB202等確認。   |
| 11月15日 | 屋外作業員作業開始。               | 12月17日 | 遺構掘削は終了。作図。軌測に向けて清掃。   |
| 11月23日 | 遺構検出。遺構概略図作成。            | 12月18日 | 第2回航空測量実施。             |
| 11月24日 | SK・SB等掘削。SK102底面より完形発出土。 | 12月19日 | 現地作業終了。撤収作業。           |
| 12月5日  | 遺構精査。第1回航空測量実施。          | 12月21日 | 2区埋め戻し。                |
| 12月7日  | 1区埋め戻し。                  | 12月27日 | 休憩小屋等撤去完了。発掘調査事業完了。    |
| 12月8日  | 2区表土掘削(～12月9日まで)。        |        |                        |



第1図 金沢市戸板第二土地区画整理事業地周辺の遺跡分布と調査年度 [S=1/6,000]





## 第2章 遺構と遺物

### 第1節 概要

本書では各遺構の詳細については第1～6表の遺構観察表にまとめてあるので、ご参照いただきたい。ここでは遺物が出土した遺構、建物を構成する遺構等を取り上げて記載してある。また、遺物についての詳細な記述に関しても第7～9表の遺物観察表に記載してあるのでご参照願いたい。本調査は土置き場の都合で510mを半分に分けて発掘調査を行った。1区は西側半分、2区は東側半分である。そのため、同一遺構であっても遺構名が違うものが複数あるので、ご注意願いたい。また、調査中に土坑としていたものが調査後に一本の溝と判明した遺構もある。各遺構の報告でも記述してあるが、ここでも注記しておく。SD102とSD202は同一溝でSH101の周溝である。土坑の上部が浅い溝で繋がっていたためSD102-SK01、SD102-SK02、SD102-SK03というように出土遺物を分けてある。SD104とSD204は同一溝である。SK103とトレンチ2はSD103の続きで同一遺構である。

### 第2節 主要遺構と出土遺物について

#### 1 建物

**SB101 (第2・7図)** 1区と2区にかかる位置で検出した。第7図では方形にしてあるが、第2図で示したとおり六角形になる可能性がある。P103、P104、P110、P111、P112等で構成される。建物は東側柱列を北で見ると西に3度傾く。出土遺物は細かい土師器が数点出土しているのみで詳細な時期は不明である。建物内のP102からは第16図1の柱根が出土した。

**SB102 (第2・8図)** 1区南端で検出した掘立柱建物でSH101内にかかる。規模は検出できた所で2間×1間である。P113、P114、P115、P116、P120で構成され、主軸は北で見ると8度西に傾く。

**SB201 (第2・7図)** SB201は2区中央西側で検出された2間×3間の掘立柱建物である。主軸は北で見ると西へ42度傾く。9つの柱穴中、6穴から礎板が確認された。前述のP215出土の有段口縁の甕が出土していることから古墳時代前期の掘立柱建物と考えられる。

**SB202 (第2・7図)** SB202は2区北西隅で検出された2間×3間の掘立柱建物である。主軸は北で見ると東に23度傾く。8穴中、5穴から礎板が確認された。礎板の他には土師器の細片しか出土していないため、掘立柱建物の時期は不明である。

**SB203 (第2・8図)** 1区と2区にかかる位置で検出した。P119、P202、P203、P209、P211等で構成され、主軸は北で見ると西へ42度傾く。出土遺物は無く時期不明であるが、SB201と主軸の傾きが同じであることから、SB201と同様、古墳時代前期の掘立柱建物であろうか。

**SH101 (第2・9図)** 1・2区にまたがる平地式建物で北半分しか検出できなかった。周溝はSD102とSD103があり、SD103が古くSD102が新しい。造り替えた可能性がある。それぞれの溝は連続する長方形の土坑で構成され土坑間は浅い溝で繋がり土橋状になっている。出土遺物から古墳時代前期の遺構であると考えられる。出土遺物はSD102およびSD103で報告する。

#### 2 土坑・その他の遺構

**SK101 (第2・4・10図)** 1区中央で検出した土坑で平面形は長方形、断面形は箱形を呈し、覆土は炭化物を含む土層が重なる。土坑墓の可能性はある。出土遺物は第10図1～5である。1は山陰系の有段口縁の甕であるが、外面に煤が付着する。2は山陰系の甕である。口縁部の下部には突帯が巡り、端部は外側に短く折れる。外面に煤が付着する。3は布留のくの字の甕で外面肩部にキザミ文が認められる。

外面には煤が付着する。4はくの字に曲がる短い口縁を持つ甕である。外面に煤が認められる。5は器台で脚部はハの字状に広がり、透穴が3カ所ある。その他土師器細片が多数出土している。

**SK102 (第2・4・10図)** 1区中央北端で検出した土坑で底から土器が埋納された状態で出土した。第10図6である。くの字状の口縁を持つ甕で口縁端部は外反し丸く収められている。胴部は球形を呈する。外面には煤が付着する。その他土師器細片が多数出土した。

**SK105 (第2・4・10図)** 1区西寄りで検出された土坑である。第10図7はくの字の甕で、口縁端部は大きく外反する。外面には煤が付着する。8はミニチュア製品の底部か。その他土師器細片が複数出土している。

**SK106 (第2・4・10図)** 1区南西隅で検出された土坑で、底から土器が埋納された状態で出土した。第10図9～12である。9は壺の底部で調整は摩滅が激しく不明である。10はくの字の小甕である。11は口縁部がやや内湾する丸みを帯びた杯部の高杯である。脚部はハの字状に広がり透穴が4カ所認められる。12は根固めの石か。その他土師器細片が多数出土した。

**SK201 (第2・4・11図)** 2区中央東寄りで検出された土坑である。出土遺物は第11図1・2で1は山陰系の甕である。口縁と頸部の境目あたりに突帯が巡る。口縁部内面にはキザミ文が2条残る。2はくの字甕である。口縁端部が内側に小さく折れ曲がる。その他土師器細片が多数出土した。

**SK202 (第2・4・11図)** 調査区中央やや北東寄りのカクランの下より検出された。出土遺物は第11図3～5で3は山陰系の甕か。口縁部の突帯が弱い。4はくの字の甕である。5は高杯で内外面赤彩が認められる。その他土師器細片が多数出土した。

**SK203 (第2・4・11図)** 2区南東端で検出した土坑で土器が埋納されていた。第11図6・7で6は口縁部が短く直立し受け口状を呈する。外面は煤が全面に付着しハケ調整、内面もハケ調整がなされている。弥生時代後期のものか。7は小壺で口縁部は直立する。口縁と頸部の径の差はほぼ無く境目にヘラ等で浅い線が巡る。摩滅が激しいが所々ミガキ調整が認められる。その他土師器片が複数出土した。

**SX101 (第2・4・5・11図)** 1区南西で西壁にかかる位置で検出された。出土遺物は第11図8～13で8は山陰系の甕か。口縁下部に突帯が巡り端部はやや外側へ開く。外面に煤が付着する。9は外へ開いた口縁端を短く直立させた甕か。外面には煤が付着する。10・11はくの字の甕である。11は外面に煤が付着する。12は砥石である。灰色で粒度の細かい石で、砥面は2面ある。13は根固めの石か。

**SX201 (第2・4・5・11図)** 2区南東隅で検出した広範囲に広がるが調査区外へと続き、またカクランで壊されているため詳細は不明である。出土遺物は第11図14の山陰系の甕と15の高杯である。高杯の脚部はハの字状に広がり透穴が1カ所認められる。その他土師器細片が多数出土した。

### 3溝・川跡

**SD101 (第2・5・12図)** 1区南端で検出された北西－東南方向の直線の溝である。出土遺物は第12図1～13である。1は短く直立する口縁を持つ壺の口縁部で外面に煤が付着する。2の壺は口縁部が外側に開き端部が短く真上へ折り曲げられている。3は長頸壺の口縁部分で緩やかに内湾しながら延びる。摩滅が激しく調整は不明である。4～6はくの字の甕である。4は布留式である。7は高杯の杯部で内外面に赤彩が施されている。杯部は外側へ直線的に開くが、端部はやや内湾する。8は高杯か器台の脚部である。脚柱部から脚裾部にかけて屈曲し外側へ広がる。透穴は無い。9は器台である。小型で杯部は直線的に広がり端部でやや内湾する。10～12は根固めの石か。13は緑色凝灰岩の剥片である。その他大量の土師器片が出土した。

**SD102 (第2・4・5・12・13図)** 1・2区にまたがる平地式建物(SH101)の周溝で北半分しか検出できなかった。この周溝の北から西にかけて連続する長方形の土坑で構成され土坑間は浅い溝で繋がりが土橋

状になっている。SD102-SK01、SD102-SK02、SD102-SK03、SD202は全てSD102と同一である。出土遺物は第12図14～18、第13図1～19である。第12図14は有段口縁の壺で口縁部は外側へ開き端部で短く外反させてある。15～17はくの字の甕である。18の器台の脚部はハの字状に広がる。外面はミガキ調整、内面はハケ調整がなされている。第13図1・2はくの字の甕である。3は口縁端部に面を持たせ、棒状浮文帯で装飾している壺である。4は大型の壺で頸部に突帯を巡らせキザミ文を施して装飾している。5も大型の壺で頸部に突帯を巡らせキザミ文が施されている。6はくの字の壺であるが、口縁部外面には鋸歯文が認められる。7は有段擬凹線の甕で外面には煤が付着する。8～15はくの字の甕で13・14は口縁端部に面を持つ形態である。15は外面を敲いた後ナデ調整を行っている。内面はナデ調整である。16は高杯の杯部で端部はやや内湾しつつ、ほぼ直線的に開く。内外面ともミガキ調整が施され丁寧に仕上げられている。17は高杯の脚部で裾部はハの字状に開く。透穴が4カ所確認できる。18は高杯としたが器台かもしれない。杯部は小さく直線的に開く。19は器台で杯部に弱い稜がある。脚部は器壁が厚くハの字状に開く。外面にはミガキ調整痕が残る。その他、土師器片が大量に出土した。

**SD103(第2・5・14図)** SD102の周溝の内側にあり、SD102より古い溝である。平地式建物(SH101)の周溝で南半分が調査区外で未検出のため不明である。SD102と同様、周溝の北から西にかけて連続する長方形の土坑で構成され土坑間は浅い溝で繋がりが土橋状になっている。周溝内には礎板の検出された柱穴が複数みつがっているが、柱列をなすものは確認できなかった。発掘当初、SK103としていた土坑やトレンチ2もSD103と同じ溝となった。出土遺物は第14図1～5である。1は小型の長頸壺の口縁部である。内外面ナデ調整がなされている。2は有段擬凹線の甕で口縁部は外側へ直線的に開く。3はくの字の甕で外面に煤が付着している。4は高杯で脚部は外面にミガキ痕がわずかに認められる。裾部へ向かって広がり透穴が4カ所確認できる。5は器台か。小さい受部でやや端部にかけて内湾気味に広がる。その他図示できなかったが土師器片が複数出土した。

**SD201(第2・4・5・14図)** 2区北東で確認された溝で近代のカクランで壊されたため全容が不明である。出土遺物は第14図6～9で、6は有段口縁の山陰系の壺である。頸部と口縁部の境目付近に突帯が巡る。口縁端部は外反する。7は山陰系の甕で口縁下部に突帯が回り端部は短く外へ折れる。8・9はくの字の甕でともに口縁部は短く外反し端部に面を持つ。その他土師器片が大量に出土している。

**SD203(第2・5・14図)** 2区南東隅で検出された溝である。周溝のように曲線を描くようにも見えるが一部しか検出していないので性格は不明である。出土遺物は第14図10の山陰系の甕である。外面に煤が付着している。その他土師器片が多数出土した。

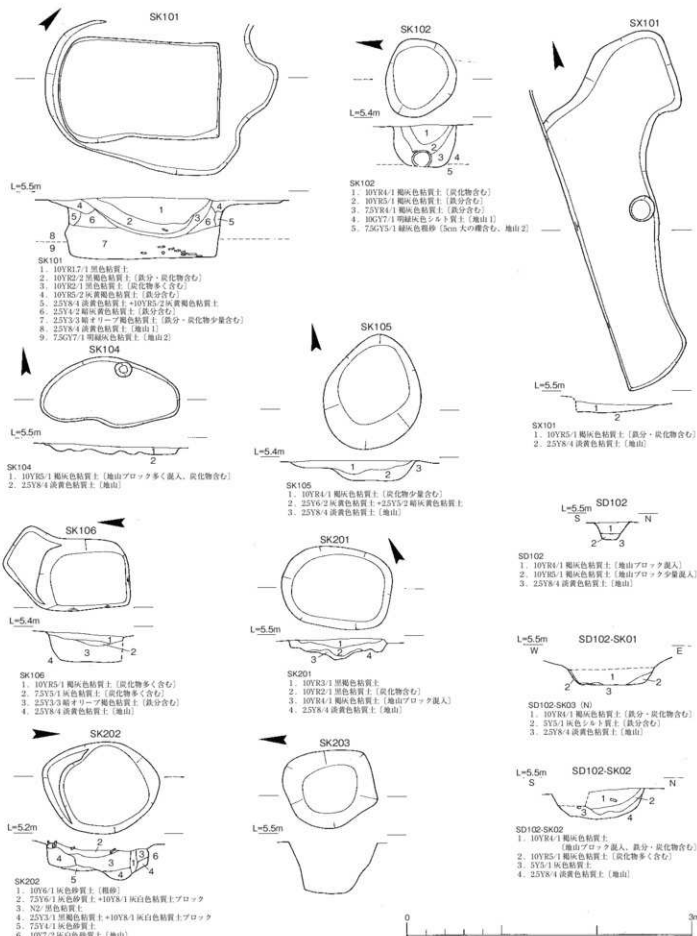
**SD204(第2・5・6・14図)** 1区のSD104と同じ溝である。1区の西から南下しつつ2区の中央南端部をほぼ直線的に流れる。SD102とSD103より新しい時期に掘られた溝と考えられる。出土遺物は第14図11・12である。11は有段擬凹線の甕で口縁部内外面に煤が付着している。12は器台である。小型で受け部はやや外反気味に開き脚部はハの字状に開く。全体的に摩滅や剥離が進み調整は不明である。その他大量の土師器片が出土した。

#### 4 柱穴・包含層

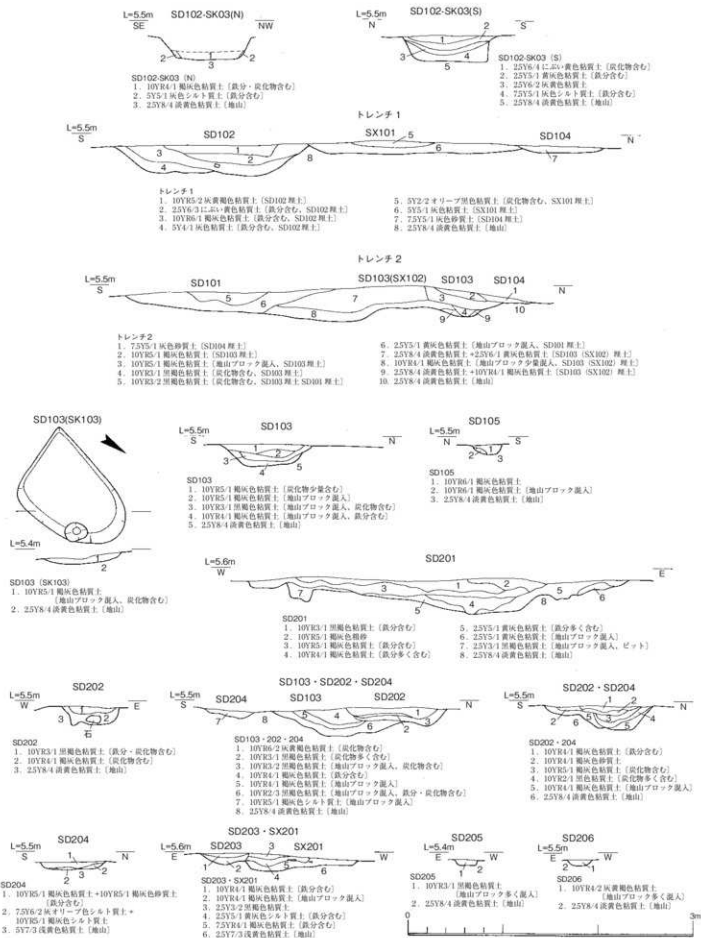
**P125(第2・14図)** 1区中央西側で検出した柱穴である。第14図13のくの字の甕が出土した。口縁端部は短く直立し端面となっている。

**P215(SB201第2・8・15図)** SB201は2区中央西側で検出された掘立柱建物であるが、P215はSB201の南西隅の柱穴である。第15図3の礎板が出土しており、図示はしていないが有段口縁の甕が出土している。

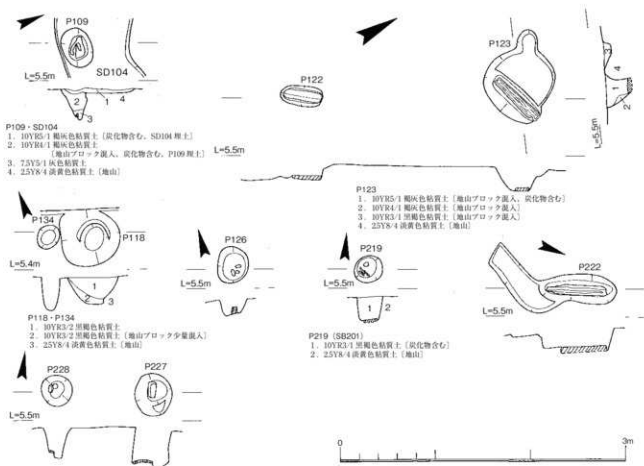
**包含層(第14図)** 第14図14の有段口縁の壺である。端部にかけて緩やかに外反する。



第4図 SK101, SK102, SK104, SK105, SK201, SK202, SK203, SX101, SD102, SD102-SK01, SD102-SK02 [S=1/40]



第5図 SD102-SK03(N)、SD102-SK03(S)、トレンチ1、トレンチ2、SD103(SK103)、SD103、SD105、SD201、SD202、SD103・SD202・SD204、SD202・SD204、SD203・SX201、SD205、SD206 (S=1/40)



第6図 P109-SD104, P118-P134, P122-P123, P126, P219, P222, P227, P228 (S=1/40)

### 第3節 木製品

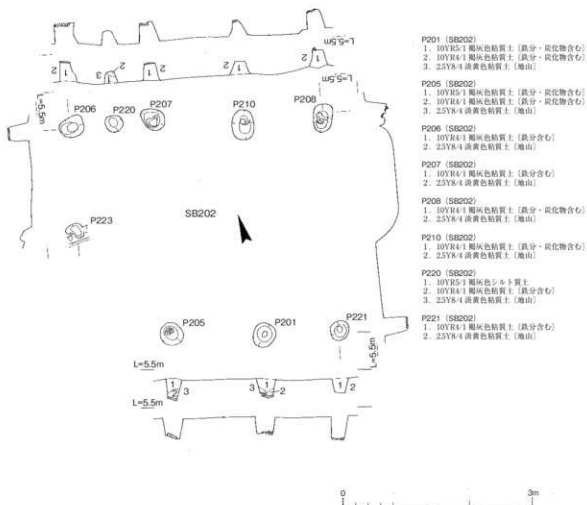
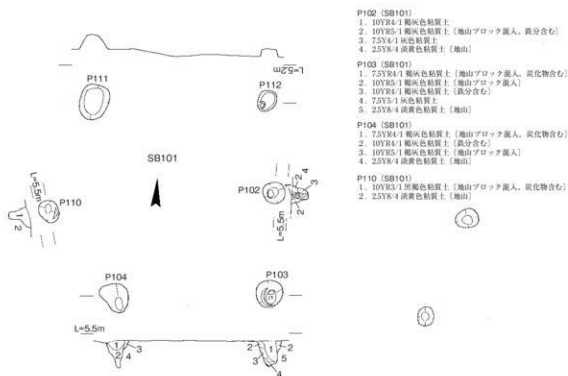
**SB201(第2・8・15図)** SB201の柱穴から第15図1(P211)、2(P212)、3(P215)、4(P216)、5(P217)、6(P218)の礎板が出土した。

**SB202(第2・7・15図)** SB202の柱穴から第15図7(P201)、8(P205)、9(P206)、10(P207)、11(P211)の礎板が出土した。8の礎板は欄を転用したものか、端部が尖るように加工した痕跡が認められる。

**P102(第2・7・16図)** P102はSB101内の柱穴である。出土遺物は第16図1の柱根の他、細かい土師器が数点出土している。

**P123(第2・6・9・16図)** P123は1区南端のSH101内で検出された柱穴で、第16図2の礎板が検出された。SH101の平地式建物の柱穴となるかは、南半分が未検出のため不明である。

**P222(第2・6・9・16図)** P222は2区南西隅のSH101内で検出された柱穴で、第16図3の礎板が検出された。P123同様、平地式建物の柱穴となるか不明であるが、周溝内で検出された礎板を持つ柱穴として、建物を構成していた可能性があるため掲載した。



第7図 SB101、SB202 (S=1/60)

## P113 - P117 - SD105

1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入、炭化物含む、P117 埋土)
2. 10YR5/1 褐色色粘質土 (炭化物少量含む、P113 埋土)
3. 10YR6/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入、SD105 埋土)
4. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P114 (SB102)

1. 10YR4/2 灰黄褐色粘質土
2. 10YR3/1 黒褐色粘質土 (炭化物含む)
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

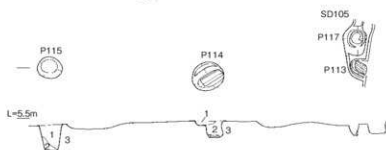


## P115 (SB102)

1. 10YR5/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入)
2. 10YR3/1 黒褐色粘質土 (炭化物含む)
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P120 (SB102)

1. 10YR5/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入、炭化物含む)
2. 10YR5/1 褐色色粘質土 (炭化物含む)
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)



## P119 (SB203)

1. 10YR5/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入、炭化物含む)
2. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P202 (SB203)

1. 10YR5/1 褐色色粘質土 (炭分含む)
2. 10YR4/1 褐色色粘質土 (炭分含む)
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P203 (SB203)

1. 10YR5/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入)
2. 10YR5/1 褐色色粘質土 (炭分含む)
3. 10YR2/2 灰白色粘質土 (地山)

## P209 (SB203)

土色は SB201 のとおり

## P211 (SB203)

土色は SB201 のとおり

## P209 (SB201)

1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (炭分・炭化物含む)
2. 10YR5/1 褐色色粘質土 (炭化物含む)
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P211 (SB201)

1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (炭分・炭化物含む)
2. 10YR5/1 褐色色粘質土 (炭化物含む)
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P212 (SB201)

1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (炭分・炭化物含む)
2. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P213 (SB201)

1. 10YR5/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入、炭化物含む)
2. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P214 (SB201)

1. 10YR5/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入)
2. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P215 (SB201)

1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入)
2. 10YR2/2 灰白色粘質土 + 10YR5/1 褐色色粘質土
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P216 (SB201)

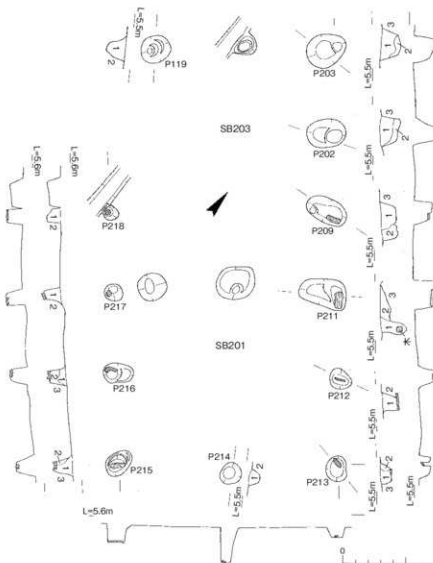
1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入)
2. 10YR2/2 灰白色粘質土 + 10YR4/1 褐色色粘質土
3. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P217 (SB201)

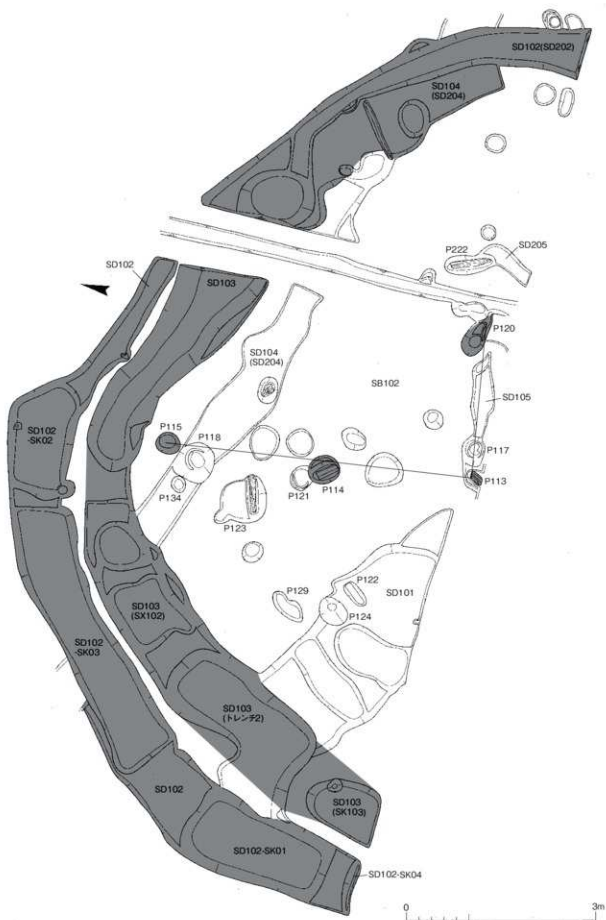
1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入、炭化物含む)
2. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)

## P218 (SB201)

1. 10YR4/1 褐色色粘質土 (地山ブロッケン混入、炭化物含む)
2. 2.5YR/4 淡黄色粘質土 (地山)



第8図 SB102、SB201、SB203 (S=1/60)



第9図 SH101(SD102・SD202, SD103) (S=1/60)

| 表 1. SBR 膜反應器 | 平面尺寸     | 槽體高度 | 方位角  | 風扇 (m)             | 風速 (m) | 構成設備 | 製作、裝配                            |
|---------------|----------|------|------|--------------------|--------|------|----------------------------------|
| SBR01         | 六角形      | 2.4  | 241° | N <sup>2</sup> W   | 3.2    | 2.4  | P1030P104P110P111, P112          |
| SBR02         | M3       | 六角形  | 220° | N <sup>2</sup> W   | 4.9    | (23) | P113P114P15P15P16, P120          |
| SBR03         | M3       | 六角形  | 220° | N <sup>2</sup> W   | 4      | 3.5  | P113P114P15P15P16, P120          |
| SBR04         | M3.1x1.4 | 風扇形  | 2×3  | N <sup>2</sup> E W | 4      | 3.0  | P101 P008 - P008, P120 P222 P223 |
| SBR05         | M3.1x1.4 | 風扇形  | 2×3  | N <sup>2</sup> E W | 4.1    | 3.0  | P101 P008 - P008, P120 P222 P223 |
| SBR06         | M3.1x1.4 | 風扇形  | 2×3  | N <sup>2</sup> E W | 4.1    | 3.0  | P101 P008 - P008, P120 P222 P223 |
| SBR07         | M3.1x1.4 | 風扇形  | 2×2  | N <sup>2</sup> E W | 2.6    | 2.6  | P119P202P203, P120               |

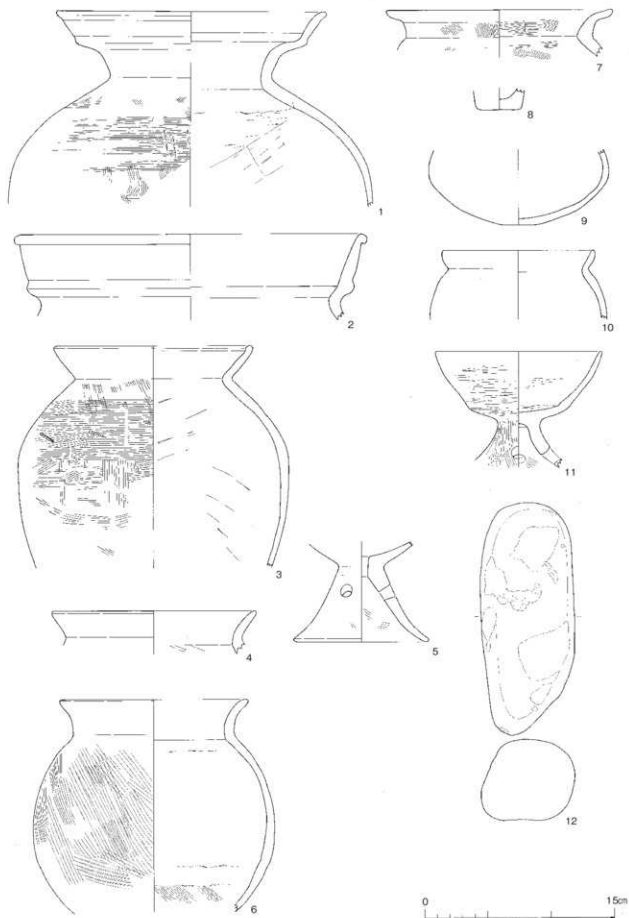
| 調査名   | 調査区     | 平地形 | 規模 (間) | 方位角     | 断面 (m) | 構成遺構 | 時代・特記         |
|-------|---------|-----|--------|---------|--------|------|---------------|
| SH101 | L2 ~ L4 | 不明  |        | N5.7° W |        |      | SD102 (SD202) |

| 材料・規格記号 |         | 仕舞番号 |          |
|---------|---------|------|----------|
| 仕舞番号    | 材料・規格記号 | 仕舞番号 | 材料・規格記号  |
| 130     | N41 E   | 130  | 62 鋼管溶接部 |
| 140     | N41 W   | 140  | 62 鋼管溶接部 |
| 150     | N41 W   | 150  | 62 鋼管溶接部 |
| 160     | N41 W   | 160  | 62 鋼管溶接部 |
| 170     | N41 W   | 170  | 62 鋼管溶接部 |
| 180     | N41 W   | 180  | 62 鋼管溶接部 |
| 190     | N41 W   | 190  | 62 鋼管溶接部 |
| 200     | N41 W   | 200  | 62 鋼管溶接部 |
| 210     | N41 W   | 210  | 62 鋼管溶接部 |
| 220     | N41 W   | 220  | 62 鋼管溶接部 |
| 230     | N41 W   | 230  | 62 鋼管溶接部 |
| 240     | N41 W   | 240  | 62 鋼管溶接部 |
| 250     | N41 W   | 250  | 62 鋼管溶接部 |
| 260     | N41 W   | 260  | 62 鋼管溶接部 |
| 270     | N41 W   | 270  | 62 鋼管溶接部 |
| 280     | N41 W   | 280  | 62 鋼管溶接部 |
| 290     | N41 W   | 290  | 62 鋼管溶接部 |
| 300     | N41 W   | 300  | 62 鋼管溶接部 |
| 310     | N41 W   | 310  | 62 鋼管溶接部 |
| 320     | N41 W   | 320  | 62 鋼管溶接部 |
| 330     | N41 W   | 330  | 62 鋼管溶接部 |
| 340     | N41 W   | 340  | 62 鋼管溶接部 |
| 350     | N41 W   | 350  | 62 鋼管溶接部 |
| 360     | N41 W   | 360  | 62 鋼管溶接部 |
| 370     | N41 W   | 370  | 62 鋼管溶接部 |
| 380     | N41 W   | 380  | 62 鋼管溶接部 |
| 390     | N41 W   | 390  | 62 鋼管溶接部 |
| 400     | N41 W   | 400  | 62 鋼管溶接部 |
| 410     | N41 W   | 410  | 62 鋼管溶接部 |
| 420     | N41 W   | 420  | 62 鋼管溶接部 |
| 430     | N41 W   | 430  | 62 鋼管溶接部 |
| 440     | N41 W   | 440  | 62 鋼管溶接部 |
| 450     | N41 W   | 450  | 62 鋼管溶接部 |
| 460     | N41 W   | 460  | 62 鋼管溶接部 |
| 470     | N41 W   | 470  | 62 鋼管溶接部 |
| 480     | N41 W   | 480  | 62 鋼管溶接部 |
| 490     | N41 W   | 490  | 62 鋼管溶接部 |
| 500     | N41 W   | 500  | 62 鋼管溶接部 |
| 510     | N41 W   | 510  | 62 鋼管溶接部 |
| 520     | N41 W   | 520  | 62 鋼管溶接部 |
| 530     | N41 W   | 530  | 62 鋼管溶接部 |
| 540     | N41 W   | 540  | 62 鋼管溶接部 |
| 550     | N41 W   | 550  | 62 鋼管溶接部 |
| 560     | N41 W   | 560  | 62 鋼管溶接部 |
| 570     | N41 W   | 570  | 62 鋼管溶接部 |
| 580     | N41 W   | 580  | 62 鋼管溶接部 |
| 590     | N41 W   | 590  | 62 鋼管溶接部 |
| 600     | N41 W   | 600  | 62 鋼管溶接部 |
| 610     | N41 W   | 610  | 62 鋼管溶接部 |
| 620     | N41 W   | 620  | 62 鋼管溶接部 |
| 630     | N41 W   | 630  | 62 鋼管溶接部 |
| 640     | N41 W   | 640  | 62 鋼管溶接部 |
| 650     | N41 W   | 650  | 62 鋼管溶接部 |
| 660     | N41 W   | 660  | 62 鋼管溶接部 |
| 670     | N41 W   | 670  | 62 鋼管溶接部 |
| 680     | N41 W   | 680  | 62 鋼管溶接部 |
| 690     | N41 W   | 690  | 62 鋼管溶接部 |
| 700     | N41 W   | 700  | 62 鋼管溶接部 |
| 710     | N41 W   | 710  | 62 鋼管溶接部 |
| 720     | N41 W   | 720  | 62 鋼管溶接部 |
| 730     | N41 W   | 730  | 62 鋼管溶接部 |
| 740     | N41 W   | 740  | 62 鋼管溶接部 |
| 750     | N41 W   | 750  | 62 鋼管溶接部 |
| 760     | N41 W   | 760  | 62 鋼管溶接部 |
| 770     | N41 W   | 770  | 62 鋼管溶接部 |
| 780     | N41 W   | 780  | 62 鋼管溶接部 |
| 790     | N41 W   | 790  | 62 鋼管溶接部 |
| 800     | N41 W   | 800  | 62 鋼管溶接部 |
| 810     | N41 W   | 810  | 62 鋼管溶接部 |
| 820     | N41 W   | 820  | 62 鋼管溶接部 |
| 830     | N41 W   | 830  | 62 鋼管溶接部 |
| 840     | N41 W   | 840  | 62 鋼管溶接部 |
| 850     | N41 W   | 850  | 62 鋼管溶接部 |
| 860     | N41 W   | 860  | 62 鋼管溶接部 |
| 870     | N41 W   | 870  | 62 鋼管溶接部 |
| 880     | N41 W   | 880  | 62 鋼管溶接部 |
| 890     | N41 W   | 890  | 62 鋼管溶接部 |
| 900     | N41 W   | 900  | 62 鋼管溶接部 |
| 910     | N41 W   | 910  | 62 鋼管溶接部 |
| 920     | N41 W   | 920  | 62 鋼管溶接部 |
| 930     | N41 W   | 930  | 62 鋼管溶接部 |
| 940     | N41 W   | 940  | 62 鋼管溶接部 |
| 950     | N41 W   | 950  | 62 鋼管溶接部 |
| 960     | N41 W   | 960  | 62 鋼管溶接部 |
| 970     | N41 W   | 970  | 62 鋼管溶接部 |
| 980     | N41 W   | 980  | 62 鋼管溶接部 |
| 990     | N41 W   | 990  | 62 鋼管溶接部 |
| 1000    | N41 W   | 1000 | 62 鋼管溶接部 |
| 1010    | N41 W   | 1010 | 62 鋼管溶接部 |
| 1020    | N41 W   | 1020 | 62 鋼管溶接部 |
| 1030    | N41 W   | 1030 | 62 鋼管溶接部 |
| 1040    | N41 W   | 1040 | 62 鋼管溶接部 |
| 1050    | N41 W   | 1050 | 62 鋼管溶接部 |
| 1060    | N41 W   | 1060 | 62 鋼管溶接部 |
| 1070    | N41 W   | 1070 | 62 鋼管溶接部 |
| 1080    | N41 W   | 1080 | 62 鋼管溶接部 |
| 1090    | N41 W   | 1090 | 62 鋼管溶接部 |
| 1100    | N41 W   | 1100 | 62 鋼管溶接部 |
| 1110    | N41 W   | 1110 | 62 鋼管溶接部 |
| 1120    | N41 W   | 1120 | 62 鋼管溶接部 |
| 1130    | N41 W   | 1130 | 62 鋼管溶接部 |
| 1140    | N41 W   | 1140 | 62 鋼管溶接部 |
| 1150    | N41 W   | 1150 | 62 鋼管溶接部 |
| 1160    | N41 W   | 1160 | 62 鋼管溶接部 |
| 1170    | N41 W   | 1170 | 62 鋼管溶接部 |
| 1180    | N41 W   | 1180 | 62 鋼管溶接部 |
| 1190    | N41 W   | 1190 | 62 鋼管溶接部 |
| 1200    | N41 W   | 1200 | 62 鋼管溶接部 |
| 1210    | N41 W   | 1210 | 62 鋼管溶接部 |
| 1220    | N41 W   | 1220 | 62 鋼管溶接部 |
| 1230    | N41 W   | 1230 | 62 鋼管溶接部 |
| 1240    | N41 W   | 1240 | 62 鋼管溶接部 |
| 1250    | N41 W   | 1250 | 62 鋼管溶接部 |
| 1260    | N41 W   | 1260 | 62 鋼管溶接部 |
| 1270    | N41 W   | 1270 | 62 鋼管溶接部 |
| 1280    | N41 W   | 1280 | 62 鋼管溶接部 |
| 1290    | N41 W   | 1290 | 62 鋼管溶接部 |
| 1300    | N41 W   | 1300 | 62 鋼管溶接部 |
| 1310    | N41 W   | 1310 | 62 鋼管溶接部 |
| 1320    | N41 W   | 1320 | 62 鋼管溶接部 |
| 1330    | N41 W   | 1330 | 62 鋼管溶接部 |
| 1340    | N41 W   | 1340 | 62 鋼管溶接部 |
| 1350    | N41 W   | 1350 | 62 鋼管溶接部 |
| 1360    | N41 W   | 1360 | 62 鋼管溶接部 |
| 1370    | N41 W   | 1370 | 62 鋼管溶接部 |
| 1380    | N41 W   | 1380 | 62 鋼管溶接部 |
| 1390    | N41 W   | 1390 | 62 鋼管溶接部 |
| 1400    | N41 W   | 1400 | 62 鋼管溶接部 |
| 1410    | N41 W   | 1410 | 62 鋼管溶接部 |
| 1420    | N41 W   | 1420 | 62 鋼管溶接部 |
| 1430    | N41 W   | 1430 | 62 鋼管溶接部 |
| 1440    | N41 W   | 1440 | 62 鋼管溶接部 |
| 1450    | N41 W   | 1450 | 62 鋼管溶接部 |
| 1460    | N41 W   | 1460 | 62 鋼管溶接部 |
| 1470    | N41 W   | 1470 | 62 鋼管溶接部 |
| 1480    | N41 W   | 1480 | 62 鋼管溶接部 |
| 1490    | N41 W   | 1490 | 62 鋼管溶接部 |
| 1500    | N41 W   | 1500 | 62 鋼管溶接部 |
| 1510    | N41 W   | 1510 | 62 鋼管溶接部 |
| 1520    | N41 W   | 1520 | 62 鋼管溶接部 |
| 1530    | N41 W   | 1530 | 62 鋼管溶接部 |
| 1540    | N41 W   | 1540 | 62 鋼管溶接部 |
| 1550    | N41 W   | 1550 | 62 鋼管溶接部 |
| 1560    | N41 W   | 1560 | 62 鋼管溶接部 |
| 1570    | N41 W   | 1570 | 62 鋼管溶接部 |
| 1580    | N41 W   | 1580 | 62 鋼管溶接部 |
| 1590    | N41 W   | 1590 | 62 鋼管溶接部 |
| 1600    | N41 W   | 1600 | 62 鋼管溶接部 |
| 1610    | N41 W   | 1610 | 62 鋼管溶接部 |
| 1620    | N41 W   | 1620 | 62 鋼管溶接部 |
| 1630    | N41 W   | 1630 | 62 鋼管溶接部 |
| 1640    | N41 W   | 1640 | 62 鋼管溶接部 |
| 1650    | N41 W   | 1650 | 62 鋼管溶接部 |
| 1660    | N41 W   | 1660 | 62 鋼管溶接部 |
| 1670    | N41 W   | 1670 | 62 鋼管溶接部 |
| 1680    | N41 W   | 1680 | 62 鋼管溶接部 |
| 1690    | N41 W   | 1690 | 62 鋼管溶接部 |
| 1700    | N41 W   | 1700 | 62 鋼管溶接部 |
| 1710    | N41 W   | 1710 | 62 鋼管溶接部 |
| 1720    | N41 W   | 1720 | 62 鋼管溶接部 |
| 1730    | N41 W   | 1730 | 62 鋼管溶接部 |
| 1740    | N41 W   | 1740 | 62 鋼管溶接部 |
| 1750    | N41 W   | 1750 | 62 鋼管溶接部 |
| 1760    | N41 W   | 1760 | 62 鋼管溶接部 |
| 1770    | N41 W   | 1770 | 62 鋼管溶接部 |
| 1780    | N41 W   | 1780 | 62 鋼管溶接部 |
| 1790    | N41 W   | 1790 | 62 鋼管溶接部 |
| 1800    | N41 W   | 1800 | 62 鋼管溶接部 |
| 1810    | N41 W   | 1810 | 62 鋼管溶接部 |
| 1820    | N41 W   | 1820 | 62 鋼管溶接部 |
| 1830    | N41 W   | 1830 | 62 鋼管溶接部 |
| 1840    | N41 W   | 1840 | 62 鋼管溶接部 |
| 1850    | N41 W   | 1850 | 62 鋼管溶接部 |
| 1860    | N41 W   | 1860 | 62 鋼管溶接部 |
| 1870    | N41 W   | 1870 | 62 鋼管溶接部 |
| 1880    | N41 W   | 1880 | 62 鋼管溶接部 |
| 1890    | N41 W   | 1890 | 62 鋼管溶接部 |
| 1900    | N41 W   | 1900 | 62 鋼管溶接部 |
| 1910    | N41 W   | 1910 | 62 鋼管溶接部 |
| 1920    | N41 W   | 1920 | 62 鋼管溶接部 |
| 1930    | N41 W   | 1930 | 62 鋼管溶接部 |
| 1940    | N41 W   | 1940 | 62 鋼管溶接部 |
| 1950    | N41 W   | 1950 | 62 鋼管溶接部 |
| 1960    | N41 W   | 1960 | 62 鋼管溶接部 |
| 1970    | N41 W   | 1970 | 62 鋼管溶接部 |
| 1980    | N41 W   | 1980 | 62 鋼管溶接部 |
| 1990    | N41 W   | 1990 | 62 鋼管溶接部 |
| 2000    | N41 W   | 2000 | 62 鋼管溶接部 |
| 2010    | N41 W   | 2010 | 62 鋼管溶接部 |
| 2020    | N41 W   | 2020 | 62 鋼管溶接部 |
| 2030    | N41 W   | 2030 | 62 鋼管溶接部 |
| 2040    | N41 W   | 2040 | 62 鋼管溶接部 |
| 2050    | N41 W   | 2050 | 62 鋼管溶接部 |
| 2060    | N41 W   | 2060 | 62 鋼管溶接部 |
| 2070    | N41 W   | 2070 | 62 鋼管溶接部 |
| 2080    | N41 W   | 2080 | 62 鋼管溶接部 |
| 2090    | N41 W   | 2090 | 62 鋼管溶接部 |
| 2100    | N41 W   | 2100 | 62 鋼管溶接部 |
| 2110    | N41 W   | 2110 | 62 鋼管溶接部 |
| 2120    | N41 W   | 2120 | 62 鋼管溶接部 |
| 2130    | N41 W   | 2130 | 62 鋼管溶接部 |
| 2140    | N41 W   | 2140 | 62 鋼管溶接部 |
| 2150    | N41 W   | 2150 | 62 鋼管溶接部 |
| 2160    | N41 W   | 2160 | 62 鋼管溶接部 |
| 2170    | N41 W   | 2170 | 62 鋼管溶接部 |
| 2180    | N41 W   | 2180 | 62 鋼管溶接部 |
| 2190    | N41 W   | 2190 | 62 鋼管溶接部 |
| 2200    | N41 W   | 2200 | 62 鋼管溶接部 |
| 2210    | N41 W   | 2210 | 62 鋼管溶接部 |
| 2220    | N41 W   | 2220 | 62 鋼管溶接部 |
| 2230    | N41 W   | 2230 | 62 鋼管溶接部 |
| 2240    | N41 W   | 2240 | 62 鋼管溶接部 |
| 2250    | N41 W   | 2250 | 62 鋼管溶接部 |
| 2260    | N41 W   | 2260 | 62 鋼管溶接部 |
| 2270    | N41 W   | 2270 | 62 鋼管溶接部 |
| 2280    | N41 W   | 2280 | 62 鋼管溶接部 |
| 2290    | N41 W   | 2290 | 62 鋼管溶接部 |
| 2300    | N41 W   | 2300 | 62 鋼管溶接部 |
| 2310    | N41 W   | 2310 | 62 鋼管溶接部 |
| 2320    | N41 W   | 2320 | 62 鋼管溶接部 |
| 2330    | N41 W   | 2330 | 62 鋼管溶接部 |
| 2340    | N41 W   | 2340 | 62 鋼管溶接部 |
| 2350    | N41 W   | 2350 | 62 鋼管溶接部 |
| 2360    | N41 W   | 2360 | 62 鋼管溶接部 |
| 2370    | N41 W   | 2370 | 62 鋼管溶接部 |
| 2380    | N41 W   | 2380 | 62 鋼管溶接部 |
| 2390    | N41 W   | 2390 | 62 鋼管溶接部 |
| 2400    | N41 W   | 2400 | 62 鋼管溶接部 |
| 2410    | N41 W   | 2410 | 62 鋼管溶接部 |
| 2420    | N41 W   | 2420 | 62 鋼管溶接部 |
| 2430    | N41 W   | 2430 | 62 鋼管溶接部 |
| 2440    | N41 W   | 2440 | 62 鋼管溶接部 |
| 2450    | N41 W   | 2450 | 62 鋼管溶接部 |
| 2460    | N41 W   | 2460 | 62 鋼管溶接部 |
| 2470    | N41 W   | 2470 | 62 鋼管溶接部 |
| 2480    | N41 W   | 2480 | 62 鋼管溶接部 |
| 2490    | N41 W   | 2490 | 62 鋼管溶接部 |
| 2500    | N41 W   | 2500 | 62 鋼管溶接部 |
| 2510    | N41 W   | 2510 | 62 鋼管溶接部 |
| 2520    | N41 W   | 2520 | 62 鋼管溶接部 |
| 2530    | N41 W   | 2530 | 62 鋼管溶接部 |
| 2540    | N41 W   | 2540 | 62 鋼管溶接部 |
| 2550    | N41 W   | 2550 | 62 鋼管溶接部 |
| 2560    | N41 W   | 2560 | 62 鋼管溶接部 |
| 2570    | N41 W   | 2570 | 62 鋼管溶接部 |
| 2580    | N41 W   | 2580 | 62 鋼管溶接部 |
| 2590    | N41 W   | 2590 | 62 鋼管溶接部 |
| 2600    | N41 W   | 2600 | 62 鋼管溶接部 |
| 2610    | N41 W   | 2610 | 62 鋼管溶接部 |
| 2620    | N41 W   | 2620 | 62 鋼管溶接部 |
| 2630    | N41 W   | 2630 | 62 鋼管溶接部 |
| 2640    | N41 W   | 2640 | 62 鋼管溶接部 |
| 2650    | N41 W   | 2650 | 62 鋼管溶接部 |
| 2660    | N41 W   | 2660 | 62 鋼管溶接部 |
| 2670    | N41 W   | 2670 | 62 鋼管溶接部 |
| 2680    | N41 W   | 2680 | 62 鋼管溶接部 |
| 2690    | N41 W   | 2690 | 62 鋼管溶接部 |
| 2700    | N41 W   | 2700 | 62 鋼管溶接部 |
| 2710    | N41 W   | 2710 | 62 鋼管溶接部 |
| 2720    | N41 W   | 2720 | 62 鋼管溶接部 |
| 2730    | N41 W   | 2730 | 62 鋼管溶接部 |
| 2740    | N41 W   | 2740 | 62 鋼管溶接部 |
| 2750    | N41 W   | 2750 | 62 鋼管溶接部 |
| 2760    | N41 W   | 2760 | 62 鋼管溶接部 |
| 2770    | N41 W   | 2770 | 62 鋼管溶接部 |
| 2780    | N41 W   | 2780 | 62 鋼管溶接部 |
| 2790    | N41 W   | 2790 | 62 鋼管溶接部 |
| 2800    | N41 W   | 2800 | 62 鋼管溶接部 |
| 2810    | N41 W   | 2810 | 62 鋼管溶接部 |
| 2820    | N41 W   | 2820 | 62 鋼管溶接部 |
| 2830    | N41 W   | 2830 | 62 鋼管溶接部 |
| 2840    | N41 W   | 2840 | 62 鋼管溶接部 |
| 2850    | N41 W   | 2850 | 62 鋼管溶接部 |
| 2860    | N41 W   | 2860 | 62 鋼管溶接部 |
| 2870    | N41 W   | 2870 | 62 鋼管溶接部 |
| 2880    | N41 W   | 2880 | 62 鋼管溶接部 |
| 2890    | N41 W   | 2890 | 62 鋼管溶接部 |
| 2900    | N41 W   | 2900 | 62 鋼管溶接部 |
| 2910    | N41 W   | 2910 | 62 鋼管溶接部 |
| 2920    | N41 W   | 2920 | 62 鋼管溶接部 |
| 2930    | N41 W   | 2930 | 62 鋼管溶接部 |
| 2940    | N41 W   | 2940 | 62 鋼管溶接部 |
| 2950    | N41 W   | 2950 | 62 鋼管溶接部 |
| 2960    | N41 W   | 2960 | 62 鋼管溶接部 |
| 2970    | N41 W   | 2970 | 62 鋼管溶接部 |
| 2980    | N41 W   | 2980 | 62 鋼管溶接部 |
| 2990    | N41 W   | 2990 | 62 鋼管溶接部 |
| 3000    | N41 W   | 3000 | 62 鋼管溶接部 |
| 3010    | N41 W   | 3010 | 62 鋼管溶接部 |
| 3020    | N41 W   | 3020 | 62 鋼管溶接部 |
| 3030    | N41 W   |      |          |

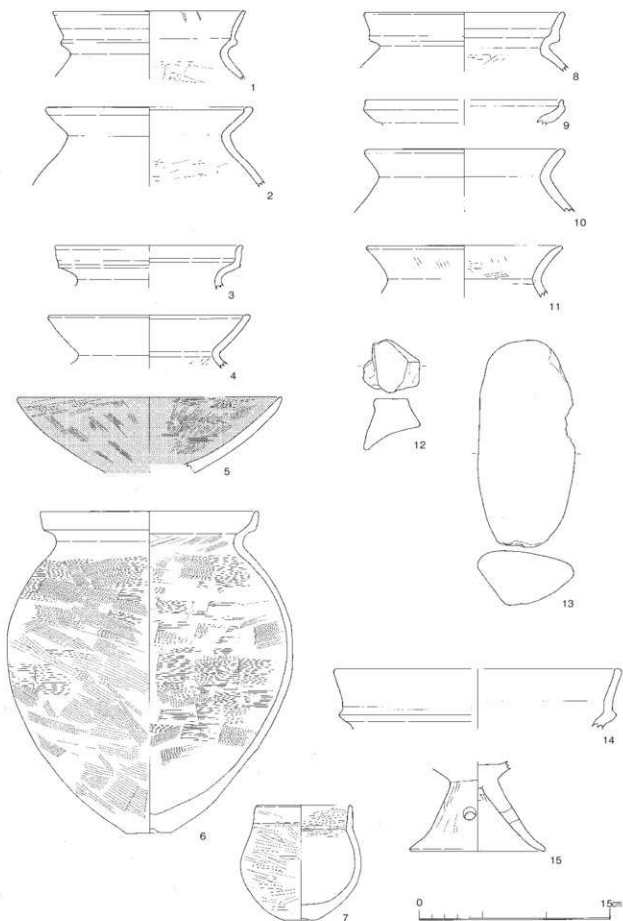
[illegible]

| 番名   | 区画番号            | 平面図 | 断面図 | 方位      | 高さ (cm) | 長さ (cm) | 断面積 (cm <sup>2</sup> ) | 土色等      | 特記・地誌                   |
|------|-----------------|-----|-----|---------|---------|---------|------------------------|----------|-------------------------|
| 第1区画 | SD20101 L1, L3  | 砂質土 | 砂質土 | N57° W  | 220     | 90      | 19,800                 | 20 粘土状砂層 | SD20101 土質<br>SH1010 土質 |
|      | SD20102 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N57° W  | 220     | 92      | 20,240                 | 22 粘土状砂層 |                         |
|      | SD20103 L1, L3  | 砂質土 | 砂質土 | N57° W  | 220     | 99      | 21,780                 | 23 粘土状砂層 |                         |
|      | SD20104 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N65° W  | 114     | 88      | 10,032                 | 16 粘土状砂層 | SD20104 土質              |
|      | SD20105 L3      | 砂質土 | 砂質土 | N65° E  | 120     | 31      | 3,630                  | 10 粘土状砂層 |                         |
|      | SD20106 L3      | 砂質土 | 砂質土 | N65° E  | 120     | 31      | 3,630                  | 10 粘土状砂層 |                         |
|      | SD20107 L3      | 砂質土 | 砂質土 | N113° W | 200     | 402     | 84,840                 | 39 粘土状砂層 |                         |
|      | SD20108 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N113° W | 200     | 92      | 18,360                 | 23 粘土状砂層 | SD10210 土質<br>SH1010 土質 |
|      | SD20109 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N27° W  | 480     | 50      | 24,000                 | 12 粘土状砂層 |                         |
|      | SD20110 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N65° W  | 2040    | 86      | 175,344                | 26 粘土状砂層 | SD10410 土質              |
| 第2区画 | SD20201 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N27° E  | 110     | 36      | 3,960                  | 7 粘土状砂層  |                         |
|      | SD20202 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N27° E  | 110     | 36      | 3,960                  | 7 粘土状砂層  |                         |
|      | SD20203 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N27° E  | 110     | 36      | 3,960                  | 7 粘土状砂層  |                         |
|      | SD20204 L2 ~ L4 | 砂質土 | 砂質土 | N27° E  | 110     | 36      | 3,960                  | 7 粘土状砂層  |                         |

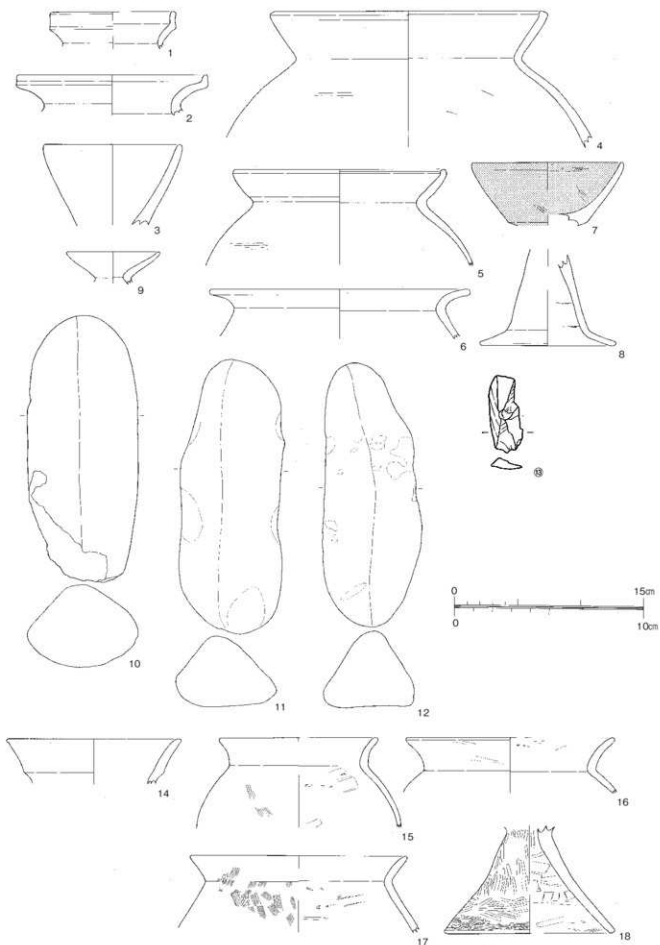
[illegible]



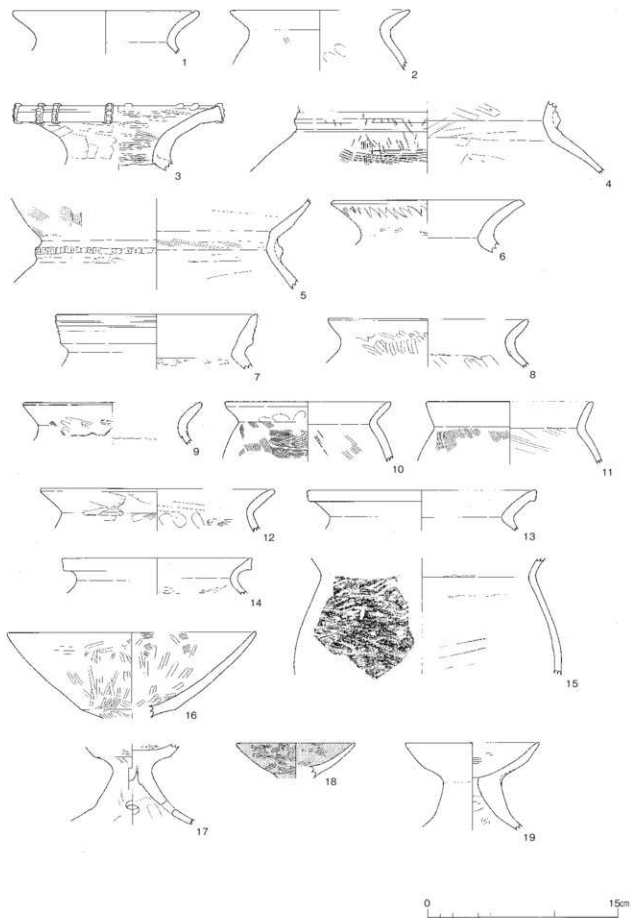
第10図 SK101(1~5)、SK102(6)、SK105(7・8)、SK106(9~12) [S= 1/3]



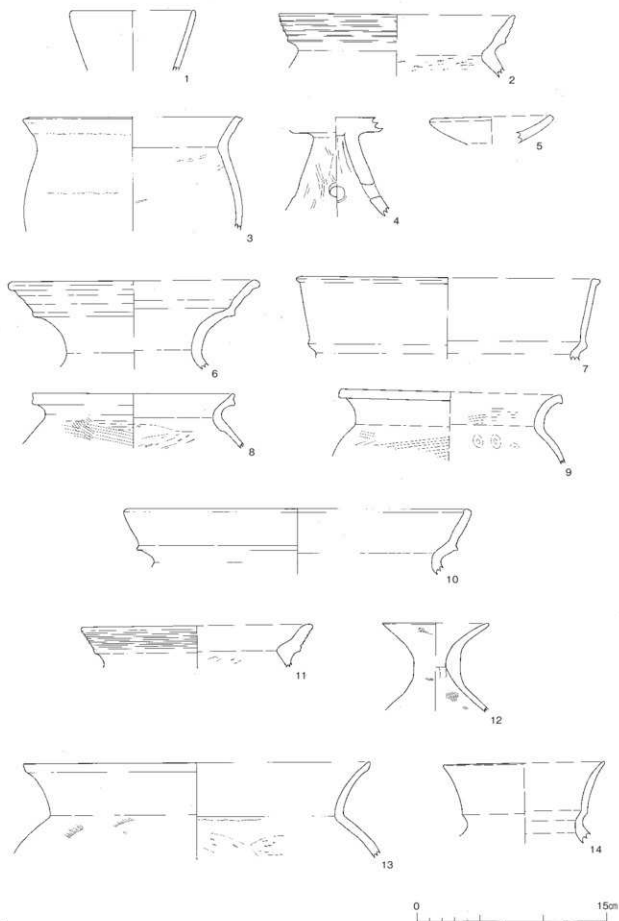
第11図 SK201(1・2)、SK202(3～5)、SK203(6・7)、SX101(8～13)、SX201(14・15) [S= 1/3]



第12図 SD101(1～13)、SD102-SK02(14)、SD102-SK03(15～18) [S= 1/3、○数字はS= 1/2]



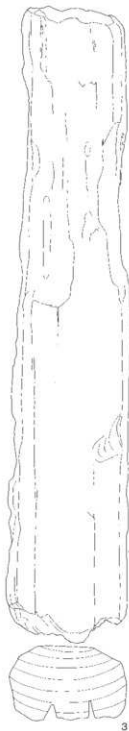
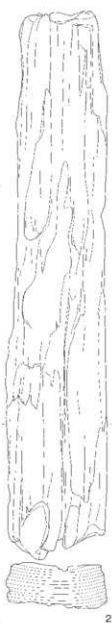
第13図 SD102-SK04(1・2)、SD102(3~19) (S= 1/ 3)



第14図 SD103(1~5)、SD201(6~9)、SD203(10)、SD204(11・12)、P125(13)、包含層(14) [S= 1/3]



第15図 SB201(1 : P211, 2 : P212, 3 : P215, 4 : P216, 5 : P217, 6 : P218),  
SB202(7 : P201, 8 : P205, 9 : P206, 10 : P207, 11 : P221) (S= 1 / 4)



0 15cm

第16圖 1 : P102, 2 : P123, 3 : P222 [S= 1 / 4]

表7 土器・陶磁器観察表

| 図番 | 番号 | 産地 | 器種  | 法量(mm) |     |     |     | 土 器    |        |        |        | 装 飾    |        |        |        | 色 澤    |        | 備 考  | 宝器番号 |
|----|----|----|-----|--------|-----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|------|
|    |    |    |     | 口径     | 底径  | 高さ  | 器口厚 | 器口縁    | 器口内面   | 器口外面   | 器口内面   | 器口外面   | 器口内面   | 器口外面   | 器口内面   | 器口外面   | 器口内面   |      |      |
| 1  | 1  | M3 | 土器類 | 215    | 154 | 200 | 128 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A5   |
|    | 2  | M3 | 土器類 | 200    | 160 |     | 230 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A1   |
|    | 3  | M3 | 土器類 | 198    | 170 | 224 | 124 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A4   |
|    | 4  | M3 | 土器類 | 162    | 141 |     | 124 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A2   |
|    | 5  | M3 | 土器類 | 200    |     |     | 107 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A3   |
|    | 6  | M3 | 土器類 | 140    | 108 | 102 | 128 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | T4   |
|    | 7  | L2 | 土器類 | 170    | 127 |     | 120 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | 13   |
|    | 8  | L2 | 土器類 | 170    | 127 |     | 120 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | 14   |
|    | 9  | L2 | 土器類 | 170    | 127 |     | 120 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | 15   |
|    | 10 | L2 | 土器類 | 170    | 127 |     | 120 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | 16   |
|    | 11 | L2 | 土器類 | 170    | 127 |     | 120 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | 17   |
| 2  | 1  | L4 | 土器類 | 190    | 141 |     | 125 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | E1   |
|    | 2  | L4 | 土器類 | 160    | 120 |     | 130 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | E2   |
|    | 3  | M4 | 土器類 | 147    | 101 |     | 114 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | E4   |
|    | 4  | M4 | 土器類 | 158    | 142 |     | 112 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | E5   |
|    | 5  | M4 | 土器類 | 210    | 160 |     | 120 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | E6   |
|    | 6  | L4 | 土器類 | 170    | 126 | 227 | 36  | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | E7   |
|    | 7  | L4 | 土器類 | 170    | 126 | 227 | 36  | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | E8   |
|    | 8  | L2 | 土器類 | 160    | 147 |     | 135 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A24  |
|    | 9  | L2 | 土器類 | 157    | 120 |     | 131 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A20  |
|    | 10 | L2 | 土器類 | 150    | 101 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A21  |
|    | 11 | L2 | 土器類 | 150    | 101 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A20  |
| 3  | 1  | L3 | 土器類 | 100    | 100 |     | 70  | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A9   |
|    | 2  | L3 | 土器類 | 152    | 102 |     | 126 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A8   |
|    | 3  | L3 | 土器類 | 110    | 100 |     | 100 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A10  |
|    | 4  | L3 | 土器類 | 221    | 108 |     | 180 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A7   |
|    | 5  | L3 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A11  |
|    | 6  | L3 | 土器類 | 207    | 106 |     | 120 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A13  |
|    | 7  | L3 | 土器類 | 130    | 100 |     | 100 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A12  |
|    | 8  | L3 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A8   |
|    | 9  | L3 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A14  |
|    | 10 | L3 | 土器類 | 130    | 100 |     | 100 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A15  |
|    | 11 | L3 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | A16  |
| 4  | 1  | L2 | 土器類 | 144    | 100 |     | 110 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q1   |
|    | 2  | L2 | 土器類 | 123    | 102 |     | 110 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q2   |
|    | 3  | L2 | 土器類 | 163    | 141 |     | 137 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q4   |
|    | 4  | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q5   |
|    | 5  | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q6   |
|    | 6  | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q7   |
|    | 7  | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q8   |
|    | 8  | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q9   |
|    | 9  | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q10  |
|    | 10 | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q11  |
|    | 11 | L2 | 土器類 | 170    | 126 |     | 136 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 口12/12 | 外底面付 | Q12  |

[illegible]

表 8 石製品觀察表

| 站名 | 股号 | 道序 | 道群   | 道间距  |      | 道长度 | 道 名 | 道里程    |
|----|----|----|------|------|------|-----|-----|--------|
|    |    |    |      | 点 距  | 距    |     |     |        |
| 1  | 12 | L2 | 东岳山组 | 154  | 74   | 64  | 泥岩  | 东1300m |
|    | 12 | L2 | 东岳山组 | (42) | (45) | 40  | 方解  | 东200   |
|    | 12 | L2 | 东岳山组 | 164  | 77   | 43  | 泥岩  | 东500m  |
|    | 12 | L2 | 东岳山组 | 212  | 87   | 65  | 泥岩  | 东1500m |
| 2  | 11 | L3 | 东岳山组 | 218  | 80   | 56  | 泥岩  | 东1230m |
|    | 12 | L3 | 东岳山组 | 209  | 78   | 52  | 泥岩  | 东1100m |
|    | 12 | L3 | 东岳山组 | 27   | 12   | 4   | 方解  | 东50m   |
|    | 12 | L3 | 东岳山组 |      |      |     |     |        |

表9 木製品製造表

| 国名 |    | 番号                    | 建機 | 品名  | 数量  |     | 備考 | 原簿<br>記載 |
|----|----|-----------------------|----|-----|-----|-----|----|----------|
|    |    |                       |    | 点   | 度   |     |    |          |
| 15 | 1  | M3<br>P201<br>(S8021) | 破板 | 262 | 111 | 42  |    | A27      |
|    | 2  | L4<br>P212<br>(S8021) | 破板 | 262 | 83  | 30  |    | E13      |
|    | 3  | L3<br>P215<br>(S8021) | 破板 | 209 | 77  | 17  |    | T26      |
|    | 4  | L1<br>P216<br>(S8021) | 破板 | 212 | 86  | 29  |    | E10      |
|    | 5  | L1<br>P217<br>(S8021) | 破板 | 188 | 88  | 25  |    | T27      |
|    | 6  | L3<br>P218<br>(S8021) | 破板 | 263 | 91  | 27  |    | E12      |
|    | 7  | M3<br>P201<br>(S8022) | 破板 | 220 | 156 | 20  |    | T28      |
|    | 8  | M3<br>P205<br>(S8022) | 破板 | 212 | 150 | 54  |    | E14      |
|    | 9  | M3<br>P206<br>(S8022) | 破板 | 236 | 113 | 25  |    |          |
|    | 10 | M3<br>P207<br>(S8022) | 破板 | 146 | 146 | 32  |    | G21      |
|    | 11 | M3<br>P221<br>(S102)  | 破板 | 180 | 138 | 18  |    | N2       |
| 16 | 1  | M3<br>P102<br>(S102)  | 柱板 | 540 | 123 | 140 |    | A26      |
|    | 2  | L3<br>P121<br>(S102)  | 破板 | 571 | 108 | 48  |    | N1       |
|    | 3  | L3<br>P122<br>(S102)  | 破板 | 683 | 130 | 79  |    |          |

## 第3章 総 括

調査結果から遺構の変遷を整理する。

### 弥生時代

弥生時代後期の土器が出土したSK203が該当する。

SK203は生時代後期の土器が埋納されていたと考えられる。この遺構以外からも弥生時代の土器が出土するが古墳時代の土器に混ざって出土するので弥生時代の純粋な遺構はSK203のみである。弥生時代後期の集落として、当遺跡に近接する桜田・示野中遺跡や薬師堂遺跡があり、南に隣接する平成23年度に発掘調査を行った出雲じいさまだ遺跡でも1棟ではあるが掘立柱建物が確認されている。弥生時代後期には当該遺跡の場所は集落の周辺として存在していたと考えられる。

### 古墳時代

古墳時代の中でも前期の遺構が一番多くみつかっており、当遺跡の盛期は古墳時代前期であると言える。該当する遺構はSB201、SB203、SH101、土坑墓と考えられるSK101、埋納土坑であるSK102とSK106、SK105、SK201、SK202の他、SX101やSX201からも古墳時代前期の土器が出土した。

住居に近接して土坑墓と考えられる土坑が単体で造られていた。平成22・23年度調査区に繋がる集落であると考えられる。

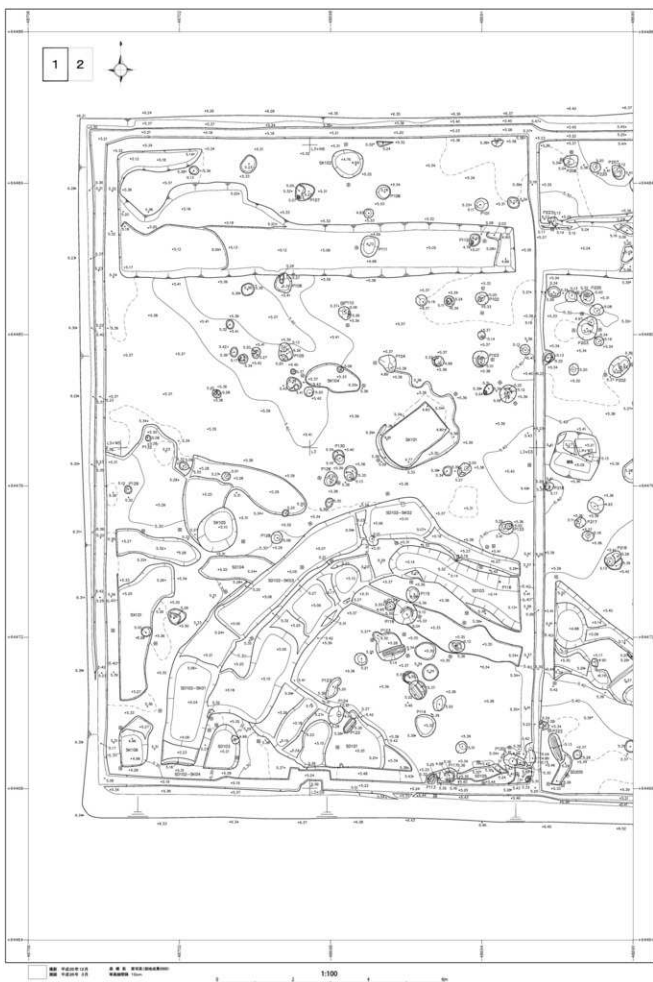
### 古代以降

古墳時代前期以降の明確な遺構は確認できず、出土した遺物も珠洲焼片と思われる陶器が1点、近世や近代の陶器片が1点ずつとほとんど混ざらない。古墳時代前期に画期をむかえた後、当遺跡では人々の生活痕がなくなることから、集落は別の場所へと移動したものと考えられる。

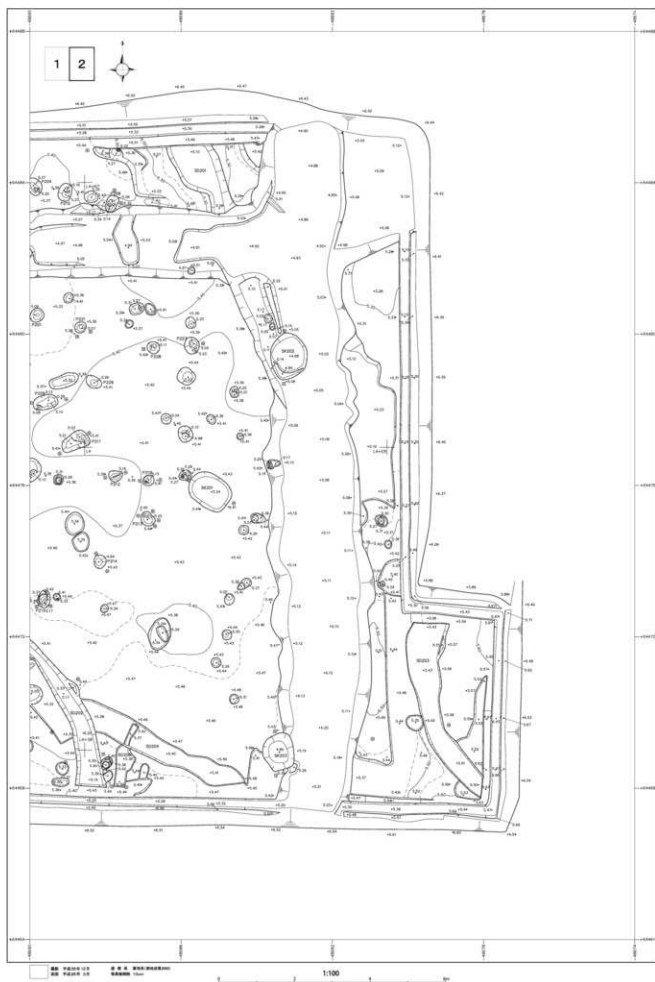
以上が平成25年度に調査した出雲じいさまだ遺跡の変遷である。この結果から第3図 出雲じいさまだ遺跡全体図でも示されているように、当該調査区が古墳時代前期の集落の北端部に位置することが明らかになった。

この集落の規模は南北の距離だけでも1.2kmを越える。東西も発掘調査を実施した箇所だけで1kmを計る大規模な集落であり、未調査の東西部分にも広がっているように見える。集落内では玉造りが行われていた事が平成17年度の第4次調査や平成22年度の第5次調査、平成23年度の第6次調査で確認されているが今回の調査区は集落の北端ということで玉造りに関連した遺物の出土は少ない。包含層で出土した緑色凝灰岩片が1点と関係が無いかもしれないがSX101で出土した砥石1点のみである。

集落の中心部は平成22・23年度調査区であり、詳細は平成27年度に刊行された『出雲じいさまだ遺跡Ⅲ』や今年度刊行する『出雲じいさまだ遺跡Ⅴ』で報告されるので参照されたい。

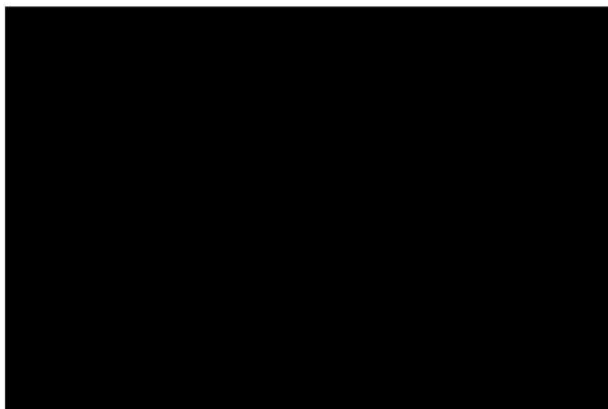


第17図 出雲じいさだ道路遺構平面図 (1) (S=1/100)





1 区遠景（東から 左隣の戸板小学校体育館下がH23年度調査区）



調査区全景（オルソ画像 他調査区含む 右が北）



1区全景（南東から）



1区SK101土器出土状況（北から）



1区SK102土器出土状況（南から）



1区SK106土器出土状況（北から）



1区SD101土器出土状況（南西から）



1区SD102・SD103(南西から)



1区SB101(南西から)



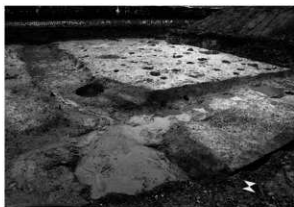
1区P123礎板出土状況（南から）



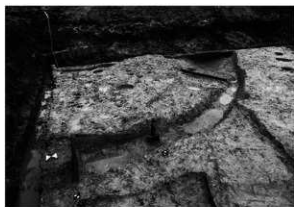
2区全景(南東から)



2区SK203(北東から)



2区SD201(北から)



2区SD202(1区SD102の続き 東から)



2区SD204(1区SD104の続き 東から)



2区SB201・SB202(北西から)



2区P219礎板出土状況(SB201 南から)



P222礎板出土状況(北東から)



SK101出土 第10図-1



SK101出土 第10図-3



SK102出土 第10図-6



SK105出土 第10図-7



SK106出土 第10図-11



SK203出土 第11図-6



SK203出土 第11図-7



SX201出土 第11図-15



SD101出土 第12図-4



SD101出土 第12図-5



SD101出土 第12図-8



SD102出土 第13図-3



SD102出土 第13図-5



SD102出土 第13図-6



SD102出土 第12図-18



SD102出土 第13図-17



SD102出土 第13図-19



SD103出土 第14図-3



SD103出土 第13図-4



石製品 砥石 第11図-12、剥片 第12図-13



石製品 根固石 奥左から第12図-1、第10図-12  
手前左から第11図-13、第12図-11、第12図-12



P205出土 礎板 第15図-8



P102出土 柱根 第16図-1

# 報 告 書 抄 録

|                                                                                                                                |                                                 |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------|-----------------------------------|-------------------|-----------------------------|-----------------------|----------|----------|
| ふりがな                                                                                                                           | いしかわけんかなざわし いずもじいさまだいせき よん                      |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| 書 名                                                                                                                            | 石川県金沢市 出雲じいさまだ遺跡 IV                             |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| シリーズ名                                                                                                                          | 金沢市文化財紀要                                        |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| シリーズ番号                                                                                                                         | 309                                             |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| 編 集 者 名                                                                                                                        | 新出敬子                                            |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| 編 集 機 関                                                                                                                        | 金沢市埋蔵文化財センター                                    |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| 所 在 地                                                                                                                          | 〒920-0374 金沢市上安原南60番地                           |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| 発 行 年 月 日                                                                                                                      | 西暦2017年3月24日                                    |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| ふりがな<br>所収遺跡名                                                                                                                  | ふりがな<br>所在地                                     | コ ー ド  |                                   | 北緯<br>° ' "       | 東経<br>° ' "                 | 調査期間                  | 調査<br>面積 | 調査<br>原因 |
|                                                                                                                                |                                                 | 市町村    | 遺跡番号                              |                   |                             |                       |          |          |
| いずも<br>出雲じいさまだ<br>いせき<br>遺跡                                                                                                    | いしかわけん<br>石川県<br>かなざわし<br>金沢市<br>といたし 1 丁目 2 番地 | 172014 | 県 市<br>140300<br>403              | 36°<br>34'<br>47" | 136°<br>37'<br>21"          | 20131108<br>～<br>1227 | 510㎡     | 公民館建設    |
| 所収遺跡名                                                                                                                          | 種別                                              | 主な時代   | 主な遺構                              |                   | 主な遺物                        |                       | 特記事項     |          |
| 出雲じいさまだ<br>遺跡                                                                                                                  | 集落                                              | 古墳時代   | 平地式建物周溝、掘<br>立柱建物、土器埋納<br>土坑、方形土坑 |                   | 弥生土器、古墳時<br>代土師器、石器、<br>木製品 |                       |          |          |
| 要約                                                                                                                             |                                                 |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |
| 出雲じいさまだ遺跡は、平成14年度、平成23年度に発掘調査を行っており、今回の発掘調査は平成14年度調査区の南東、平成23年度調査区の北側に隣接する場所を調査している。調査では古墳時代の平地式建物の周溝、掘立柱建物、土器埋納土坑、方形土坑等を確認した。 |                                                 |        |                                   |                   |                             |                       |          |          |

石川県金沢市

## 出雲じいさまだ遺跡Ⅳ

—戸板会館かがやき建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—  
(金沢市文化財紀要309)

平成29年(2017)3月24日発行

発 行 金沢市

編 集 金沢市埋蔵文化財センター

〒920-0374 石川県金沢市上安原南60番地  
TEL (076) 269-2451 FAX (076) 269-2452

印 刷 吉田印刷

〒920-0027 石川県金沢市駅西新町2-15-22  
TEL (076) 262-0959 FAX (076) 222-0273

